

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和7年2月17日		～	令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和7年2月20日		～	令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症心身障害児や医療的ケア児の受け入れ	看護職員の配置 看護職員による医療的ケア児や緊急時対応についての事業所内研修	活動を充実させる お子様の体調や状況を見て、無理のない範囲で活動に参加できる工夫をする
2	多職種の充実	お子様に合わせて、看護職員がしっかりと体調を管理し、機能訓練士によるリハビリを行う。保育士は療育や日々の活動を固定化されないように行っている。	保護者様との情報共有に努める
3	イベントの開催	ご家族と一緒に参加できるイベントを実施している	イベントに参加することで、他の利用者様との交流を図れる場を提供していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報の発信	事業所の取り組みを発信しているが少ない	・ イベントなどは今まで通り事前にお知らせしていく ・ 情報発信の方法を検討していく
2	管理不足	置き忘れや他児の物を間違えてカバンに入れてしまう	・ 帰りの際には、忘れ物が無いかチェックを行い、確認し合う ・ 持ち物にも名前を記入してもらおうよう、声を掛ける ・ 誰の持ち物が把握する
3	基準には達しているが、部屋が狭く感じてしまう	・ 別室にて過ごせるスペースは確保されているが、医療的ケア度が高いお子様や、医療機器の数も多いと狭く感じてしまう。 ・ 仕切りがある為、スペースが狭く感じてしまう。	・ マットや食事台等の配置の整理等、広く使えるように工夫する ・ お子さんに合わせて各スペースで職員を配置付け、支援をする。